

JIS

リング形フェライト磁心

JIS C 2569 : 1998

(2004 確認)

平成 10 年 11 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS C 2569-1990は改正され、この規格に置き換えられる。

この規格には、次の附属書がある。

附属書1(規定) 磁心の実効定数の計算式

附属書2(参考) 磁心のケースの寸法

附属書3(参考) 絶縁処理したリング形磁心用の絶縁破壊電圧測定技術

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。通商産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：平成 2.10.1 改正：平成 10.11.20

官 報 公 示：平成 10.11.20

原案作成協力者：社団法人 日本電子材料工業会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 電子部会（部会長 神谷 武志）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部情報電気規格課（☎100-8921 東京都千代田区霞が関 1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

リング形フェライト磁心

C 2569 : 1998

Ring cores made of ferromagnetic oxide

序文 この規格は、1976年に第1版として発行されたIEC 60525, Dimensions of toroids made of magnetic oxides or iron powder及びAmendment 1(1980)を元に作成した日本工業規格であるが、対応する部分(寸法)については規定内容を変更したほか、対応国際規格には規定されていない寸法以外の規定項目を追加した。

また、この規格に記載のIEC規格番号は、1997年1月1日から実施のIEC規格新番号体系によるものである。これより前に発行された規格については、規格票に記載された規格番号に60000を加えた番号に切り替える。これは番号だけの切り替えであり、内容は同一である。

1. 適用範囲 この規格は、主に電磁気障害防止用チョークコイル及びパルストランスに使用するリング形フェライト磁心について規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

IEC 60525 : 1976, Dimensions of toroids made of magnetic oxides or iron powder

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JIS C 2560 フェライト磁心通則

3. 定義 この規格で用いる主な用語の定義は、JIS C 2560の規定による。

4. 形名

4.1 形名の構成 形名の構成は、次に示す配列による。

$\left[\begin{array}{c} \text{フェライト} \\ \text{磁心を表す} \\ \text{記号} \\ \text{(4.2.1)} \end{array} \right]$	$\left[\begin{array}{c} \text{形状を表す} \\ \text{記号} \\ \text{(4.2.2)} \end{array} \right]$	$\left[\begin{array}{c} \text{ハイ} \\ \text{フン} \end{array} \right]$	$\left[\begin{array}{c} \text{寸法 } d_1 \text{ を} \\ \text{表す記号} \\ \text{(4.2.3)} \end{array} \right]$	$\left[\begin{array}{c} \text{ハイ} \\ \text{フン} \end{array} \right]$	$\left[\begin{array}{c} \text{寸法 } h \text{ を} \\ \text{表す記号} \\ \text{(4.2.3)} \end{array} \right]$	$\left[\begin{array}{c} \text{ハイ} \\ \text{フン} \end{array} \right]$	$\left[\begin{array}{c} \text{寸法 } d_2 \text{ を} \\ \text{表す記号} \\ \text{(4.2.3)} \end{array} \right]$	$\left[\begin{array}{c} \text{ハイ} \\ \text{フン} \end{array} \right]$	$\left[\begin{array}{c} \text{材質を} \\ \text{表す記号} \\ \text{(4.2.4)} \end{array} \right]$
例 F	OR	—	19	—	10	—	10	—	XY10

4.2 記号

4.2.1 フェライト磁心 フェライト磁心を表す記号は、Fの1英大文字とする。

4.2.2 形状 形状を表す記号は、ORの2英大文字とする。

4.2.3 寸法 寸法を表す記号は、表1に規定の寸法 d_1 、 h 及び d_2 の公称値の小数点以下を四捨五入した整数で表す。ただし、 h 及び d_2 は省略してもよい。

4.2.4 材質 材質を表す記号は、受渡当事者間の協定による。

5. 品質

5.1 電気的特性及び磁気的特性 電気的特性及び磁気的特性は、6.1～6.3によって試験をしたとき、次を満足しなけ